

第2回福島県立図書館協議会書面表決結果

表決書集計日 令和4年3月1日

賛成10人、反対0人で、当協議会会長に井貫充史委員、副会長に橋本忠広委員が選任されました。

賛成10人、反対0人で、アクションプラン（第4次）の策定は了承されました。

意見・質問

委員氏名(50音順)	意見・質問	図書館からの回答
井貫充史委員	<p>特にありません。</p> <p>資料3にある、パブリックメモの1番に関して、補足的に意見がある。福島県の図書館条例では図書館の基本理念が具体的に記されていない。設置根拠も、それに相当する基本理念を明確化する必要があると思う。それはおそらく、3年スパンで策定されるアクションプランとは別に、条例の改正も含めて検討されておきたい事項である。コロナ禍が落ち着いた先の中期の協議会の姿を見据えて、念頭に置いておきたい事項である。今回の協議会における意見と回答の5番について、要望がある。今回のアクションプラン策定は、まさにコロナ禍で行っているものであり、3～4年前に現在の状況が想定できなかつたことと同じように、3年後の状況を見通すことも難しいので、中間見直しを行うことは合理的ともいえる。中間見直しを行わざるを得ない状況になれば、委員として協力したいと考えている。あるいは、たとえれば、この第4次アクションプランを基本計画として位置づけ、年度計画を別に策定するなど、柔軟な対応も考えられる。当面は、小さなPDCAサイクルによる小さなアップデートを意識し、アクションプランの実効性が確保されることを望む。</p> <p>資料1および資料2として示されている通り、第4次アクションプランは、非来館サービスの推進や、デジタル情報の発信、図書館間ネットワークの強化が主たる取り組みとして挙げられていて、これらが大きなスパイラルアップに発展すれば、福島県立図書館は、県外や世界に対して貢献できるはずである。このアクションプランは、県内の期待に応えるとともに、県外からの関心も集めるような取り組みの第一歩になると思うので、賛成する。</p> <p>【気づいた点】 資料3にある、パブリックメモの2番の回答について、下記の通り脱字があるため、ご確認ください。 誤：ご意見をいただきましたとおりに 正：ご意見をいただきましたとおりに</p>	<p>図書館運営について貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>中間見直しにつきましては、アクションプラン（第4次）を実施する上で、進行状況の管理を行いながら、毎年次年度の実施計画を見直す予定ですので、図書館協議会で報告させていただきますので、ご協力願います。</p> <p>当プランにご賛同いただき、ありがとうございます。</p>
岩本夏海委員		

委員氏名(50音順)	意見・質問	図書館からの回答
菅野隆一委員	<p>広い県土に暮らす県民一人一人に活字、書籍に触れ、学びの機会を提供する意義は極めて大きいと思います。</p> <p>市町村や学校図書館との連携を強化し、県立図書館の財産を有効に活用できる環境を整えていきたいです。</p> <p>プランに掲げられた様々な数値目標は、いずれも困難なものではありません。目標以上の成果を残せるよう職員間、県内図書館等との連携を深め、県民が誇れるネットワークを構築して下さい。</p>	<p>「アクションプラン(第4次)」の実現に向けて、県内図書館との連携を深め、数値目標以上の成果を残せるよう職員一同尽力してまいります。ご意見をいただきました、ありがとうございます。</p>
三瓶千香子委員	<p>アクションプラン(第4次)案、ありがとうございます。1ページ目、下から3行目から、コロナ禍(ウィズコロナ)社会を鑑みて①非来館サービス ②デジタル情報の発信の充実化が示されています。さて、①②どんなものが述べられているのかな・・・とページをめくったところ、ほとんど具体的に述べられておらず、「～が必要で」と、その必要性が記されているだけです。残念です。個人的には①②がどのような取り組みになるのか知りたいですし、他県では先駆的にどのような事例があるのか関心があります。「災害を体験した県」として①②③として③(図書館間のネットワーク化)の具体的な取り組みは必要かと思われれます。以上です。</p>	<p>①非来館サービスの推進 ②デジタル情報の発信 ③図書館間ネットワークの強化につましましては、毎年の目標を具体的に定め、実施する予定です。ご指摘いただきました、ありがとうございます。</p>
高橋明子委員	<p>保存スペースの狭小化が課題となつていくことへの意見</p> <p>資料デジタル化やレアレンスサービスの増設を急ぐべきだと思ふ。例えばコミュニティスペースや展示スペース、イベントスペース等を隣接させると複合施設とし、情報発信の場となると良いと思う。「本」と美術館が目的ではなく、いろいろな人が訪れる場所になりたい。</p> <p>意見、質問ではありません。いつもお世話になっております。日頃からの(県立)公立図書館の取り組みに「さすが」と感服しております。今後のご活躍祈念してまいります。お世話になりました。</p>	<p>施設の在り方についてのご提案をありがとうございます。将来に向けた課題とさせていただきます。</p>
高橋正人委員	<p>極めて高邁な理念として「ふくしまの未来をひらく」こと、及び「知の拠点」という方向性が明示されたアクションプランであり、県民とともに歩む姿勢を明確にした適切な計画だと思料いたします。</p> <p>そして、県民すべてに目配りをするとともに、「子どもたちの今と未来」に向けた視点にも期待が持てる内容となっております。着実なプランの実施によりふりくしま創生への道筋が示されたものと考えます。ありがとうございます。</p>	<p>「アクションプラン(第4次)」にご賛同いただき、ありがとうございます。</p>

委員氏名(50音順)	意見・質問	図書館からの回答
角田守良委員	<p>電子書籍については、県民の読書環境の充実に欠かせないため、早期実現に向けたタイムスケジュールを示してほしい。同時に所蔵書籍のデジタル化も必要と考えます。指標⑩で6年度に累積点数を150点としています。さらなる推進を期待します。</p> <p>書庫の狭隘化の解消について、今後の資料収集の見通しに基づくと何年後にどのようになるかを明示し、その対策を具体的に示すべきと考えます。これは大きな問題であり、先延ばしをせず、新年度中に方向性を打ち出せるよう努めてください。</p>	<p>電子書籍の導入については、早期実現に向け検討してまいります。具体的に決まりましたら、タイムスケジュールをお知らせいたします。</p> <p>書庫の狭隘化への取組については、具体的に検討しているところですので、ご指摘いただきました、ありがとうございます。</p>
橋本忠広委員	<p>コロナ感染拡大の中、図書館運営の大変さをお察しいたします。少しでも早く感染が収まり、平常の状況にもどることを心よりお祈りしております。また今後とも宜しく願っています。</p>	<p>図書館の運営にご理解いただき、ありがとうございます。</p>
星野亜希委員	<p>新型コロナウイルス感染拡大にともない学校の在り方が問われ、様々な面で変化があらわれました。初めは中止としていた行事等もどうすればできるのかと視点をかえ、今までのものを見直すこととなりました。県立図書館についても同様と思います。資料作成等の準備ありがとうございりました。</p> <p>今、本校では読書量をどうやって増やしていくか、東日本大震災をどう生徒に伝えていくか、話題となっています。「ふくしまについて知ることができればありがたいと思います。活用させていただきます。</p>	<p>行事等とふくしまに関する資料へのご意見をありがとうございます。地域資料の収集及びデジタル化に努めてまいります。</p>
目黒美千代委員	なし	